

事業実施状況

※中項目または事業名の後の（ ）は実施機関

1 生涯学習・地域づくり活動の総合的推進・支援

(1) 生涯学習に係る情報提供・調査研究の実施

①ひょうごインターキャンパス（兵庫県生涯学習の広場）の運営（協会本部）

- ・教育機関・民間企業・行政等様々な生涯学習機関と連携し、多彩で幅広い生涯学習情報を提供するウェブサイト「ひょうごインターキャンパス」を運営しました。
- ・参画機関として登録されていない公民館、生涯学習センター、高齢者大学等に対し、会議の場などを活用して参画を働き掛け、登録の促進を図りました。

参画機関数	515
アクセス数	471 千件

②生涯学習リーダーバンクの運営（協会本部）

- ・生涯学習で得た知識・技能を生かし、ボランティア指導者として学習グループ等の活動支援をしようとする人材の利用促進を図り、学びの社会還元を推進しました。
- ・これまでの活動状況の実態等（高齢化等による辞退者、死亡者、転居先不明者等）を踏まえ登録者の見直しを図りました。

バンク登録人数：194名

③生涯学習推進アドバイザー派遣事業の実施（協会本部）

- ・市町や生涯学習関係機関が抱える課題の解決を支援する生涯学習推進アドバイザー派遣事業を実施しました。

派遣件数：16件

④大学生等の公民館利用など生涯学習に関する調査研究の実施（協会本部）【延期】

- ・若年層の公民館事業参画を促進するため、大学生等の公民館利用など生涯学習に関する活動実態について、令和2年度から2年間にわたって調査研究を実施することとしておりましたが、令和2年度分を令和3年度に延期しました。

⑤生涯学習情報コーナーの運営（協会本部）

講座、資格、施設、イベント等に関するチラシ、パンフレット、冊子等をそろえ、各種の生涯学習情報を提供するとともに、生涯学習に関する相談に応えました。

○生涯学習情報コーナー（ハーバーランド庁舎6階）

開館日時：月～金曜日（祝祭日、年末年始を除く）9:00～17:15

電話番号：078-360-9015

相談件数：175件

※新型コロナウイルス感染拡大により生涯学習情報コーナーの業務のうち対面による相談について4月13日～5月29日まで中止しました。

⑥生涯学習情報の収集と提供（嬉野台、但馬、西播磨、淡路）

- ・県民の生涯学習を支えるため、生活創造情報プラザにおいて、市町等が発行するイベント等情報刊行物をはじめとした生涯学習に関する情報を収集し、提供しました。

・但馬文庫

青少年及び成人の教養を高め、地域文化の向上を図るため、但馬文庫において図書及び視聴覚資料等を収集・整理し、県民の利用に供することによって、但馬の良さを知ってもらい、ふるさと但馬を愛する心を培うとともに、こころ豊かな人づくりに資しました。所蔵資料の再整理・ネット等による情報発信を進めるとともに、他の社会教育施設との相互利用など、所蔵資料の活用促進を図りました。

・淡路文化会館ライブラリー

淡路文化会館が所有する図書、資料、視聴覚資料等を閲覧、貸出に供するとともに、広域ネットワーク上で公開するなどして広く一般の利用に提供しました。

(2) あらゆる世代の生涯学習を支援する公開講座の実施

①生涯学習公開講座（協会本部・いなみ野・阪神・嬉野台・但馬・西播磨・淡路）

現役世代を含むあらゆる世代の生涯学習に対する意識の高揚を図るため、生涯学習公開講座を開催しました。

開催場所 (高齢者大学名)	講座内容	開催日・参加者数
いなみ野学園 (いなみ野学園・生涯学習部)	「よろこびを力に ～有森流 苦境を乗り越える方法～」 講師:オリンピックメダリスト 有森 裕子	開催日:令和3年2月14日 参加者数:283名
阪神健康交流センター (阪神シニアカレッジ)	「ふれあいコンサート」 NPO法人関西芸術文化支援の森ゆずりは 若手演奏家4名	開催日:令和2年10月7日 参加者数:100名
	「なるほどお天気学」 講師:気象予報士 南 利幸	開催日:令和2年10月8日 参加者数:120名
嬉野台生涯教育センター (うれしの学園)	「機能解剖学からみた身体の変齢変化とその対策」 講師:兵庫教育大学 学校教育研究科 准教授 小田 俊明	開催日:令和2年11月10日 参加者数:197名
但馬文教府 (みてやま学園)	「北但大震災～過去最大の惨害に学ぶ～」 講師:郷土史家 中村 英夫	開催日:令和2年9月25日 参加者数:112名
	「人生をコメディに～視点を変えると幸せがやってくる～」 講師:俳優・歌手 河合 美智子 俳優 峯村 純一	開催日:令和2年10月16日 参加者数:132名
	「講談・本能寺の変」 講師:講談師 旭堂 南海	開催日:令和3年1月22日 参加者数:126名
	「あきらめない心」 講師:日本初義手の看護婦、北京・ロンドン パラリンピック競泳日本代表 伊藤 真波	開催日:令和3年2月26日 参加者数:134名

西播磨文化会館 (ゆうゆう学園)	「世界との支え合い・学び合い ～被災地KOBEから～」 講師：NPO法人CODE海外災害援助市民 センター事務局長 吉椿 雅道	開催日：令和3年1月22日 参加者数：4名
	「西播磨から名刀を」 講師：刀工 高見 國一	開催日：令和3年2月5日 参加者数：8名
淡路文化会館 (いざなぎ学園)	【第1回地域公開講座】 内容：「千姫物語」 講師：歴史研究家 黒田 美江子	開催日：令和3年1月23日 参加者数：82名
	【第2回地域公開講座】 内容：「新しい時代を健やかに生きるため の笑いの力」 講師：大道芸人 田久 朋寛	開催日：令和3年2月20日 参加者数：63名
	【第3回地域公開講座】 内容：「家庭園芸から自給自足まで」 講師：庭暮らし研究所 代表 畑 明宏	開催日：令和3年3月21日 参加者数：84名

②いなみ野学園多世代交流応援プロジェクトの実施【中止】

いなみ野学園の休園日の学舎を活用し、学園生と地域の多世代住民がともに学び、交流するイベントや、地域づくりに関する講演会などを予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止しました。

(3) 生活創造活動グループに対する支援

①生活創造情報プラザ（嬉野台・但馬・西播磨・淡路）

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動等、成熟社会にふさわしい豊かな生活を創造するための県民による主体的な活動(生活創造活動)の拠点施設として運営しました。

実施機関	内 容	開催日・参加者数
うれしの生活創造プラザ (嬉野台)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活創造活動の促進 生活創造活動グループの活動を支援し、グループ間の相互交流を推進しました。 ・うれしの生活創造応援隊の育成と支援 地域づくりボランティア団体として、くらしに関する情報を収集・発信しました。(生活創造しんぶん「ぐぐっと！北播磨」の発行) ・ギャラリー展の開催 展示コーナーにおいて地域の情報や県民の学習成果の発表の場となるよう各種展示会を開催しました。 ・うれしのまるとギャラリー センターを活動拠点としているグループや団体の作品を、年間を通じてセンター 	<p>通年 利用者数：5,690名</p> <p>隊員数：20名 年3回(1月、2月、3月) 各3,000部発行</p> <p>通年</p> <p>常設展示：通年 特設展示</p>

	内廊下等に展示し、広く発表する場を提供しました。	：Ⅰ期(9月～11月)60点 ：Ⅱ期(3月～6月)64点
但馬生活創造情報プラザ (但馬)	<ul style="list-style-type: none"> ・みてやま朝市 みてやま学園学生や生活創造活動グループ等利用団体の活動を支援し、地域の方々との交流促進を目的とする朝市を開催し、賑わいを創出しました。 	開催日：令和2年9月～12月 (計7回開催)
西播磨生活創造情報プラザ (西播磨)	<ul style="list-style-type: none"> ・西播磨生活創造活動グループ交流会【中止】 生活創造応援隊を中心に企画運営する「西播磨生活創造活動グループ交流会」において、生活創造活動グループの活動の相互交流及び情報交換の場の提供を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止としました。 ・西播磨生活創造しんぶん「ネットめばえ」の発行 生活創造応援隊員が地域で活躍されている方々や地域の話題等を「ネットめばえ」で情報を提供し、地域の輪をひろげるとともに、企業協賛広告を募集し、財源の確保も行いました。 ・生活創造活動グループの育成支援 活動場所の提供、印刷機の利用などにより、自主グループの活動を支援しました。 ・生活創造活動グループと利用ニーズのマッチング 生活創造活動グループの「ボランティア活動情報」をホームページで公開し、利用者のニーズに応じたグループとのマッチングを行いました。 	【中止】 実施予定日：令和2年8月1日 場 所：西播磨文化会館 予定者数：300名 隊員数：18名 年4回(5月・8月・11月・2月) 各3,000部発行 通年 通年
淡路生活創造情報プラザ (淡路)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活創造活動グループ交流会【中止】 「淡路生活創造情報プラザ」に登録している生活創造活動グループの発表と交流の機会を設け、その活動を広く住民に知っていただくことで、住民の生活創造活動への参加を促すとともに、淡路生活創造情報プラザを利用いただく新たな生活創造活動グループの発掘を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止しました。 ・「生活創造しんぶん」の発行【内容変更】 地域で行われている生活創造活動や文化的な催しに関する情報を掲載した「生活創造しんぶん」をフルカラーA4判8頁で、毎月発行しました。 	※新型コロナウイルス感染拡大により、編集会議の開催、取材活動、配付が困難となったため、7月号、8月号は発行を休止

(4) 生涯学習関係機関職員研修の実施

地域における学習拠点・活動拠点である公民館等の生涯学習関係機関の職員等を対象とする体系的な研修の機会を提供し、地域課題の解決に必要なファシリテート力、コーディネート力等を養成する研修等により、関係職員等の資質向上を図りました。

① 新任社会教育関係職員等研修（協会本部）

社会教育関係職員として、職務を遂行する上で求められる基礎的知識や技能を習得するための研修を実施しました。

対象者：社会教育・生涯学習関係職員等（経験2年未満程度）

開催日：令和2年8月12日（水）

場 所：いなみ野学園（大教室）

参加者数：38名

② 社会教育関係職員等スキルアップ研修（協会本部）

会議ファシリテーション力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、広報計画力など社会教育推進に向けた専門的な知識や技能を習得するための研修を実施しました。

対象者：社会教育・生涯学習関係職員等

開催日：令和2年8月27日（木）、9月11日（金）、10月29日（木）、11月26日（木）

場 所：いなみ野学園（中教室）及び嬉野台生涯教育センター（第1研修室）

参加者総数：63名

③ 社会教育・生涯学習主管課長及び社会教育施設長等研修（協会本部）【中止】

社会教育主管課長や公民館長等を対象に国・県の施策等社会教育・生涯学習の動向を学ぶとともに研究協議を行う研修を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止しました。

④ オンライン会議システム入門セミナー【新規】

兵庫県公民館連合会がウィズコロナ、ポストコロナに対応するために実施するセミナーと連携し、各施設における会議や講座の主権者としての資質向上を図りました。

オンライン会議システムを活用した先進的な取組の発表やオンラインでの実習を通して、コロナに負けない社会教育の推進・発展に向けた実践的な知識や技能を習得するための研修を実施しました。

対象者：社会教育・生涯学習関係職員等

開催日：令和2年10月7日（水）、10月14日（水）

場 所：嬉野台生涯教育センター（講堂）及びオンライン（いなみ野学園会議室）

参加者総数：77名

(5) ふるさとひょうご創生塾の実施

活力あるふるさと兵庫の実現のため、多世代（価値観の異なる青年・壮年・老年）が交流しながら学び、県政との協働による自主自律の地域づくり活動の新しい地域リーダーを養成するふるさとひょうご創生塾を開設し、運営しました。

① ふるさとひょうご創生塾【内容変更】

・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、第25期生(新入生)の入塾申込者が7名にとどまっ

たため、第25期生の開講は中止し、第24期生の2年次は4月から6月は休講し、7月から一部内容を変更し実施しました。

事業名	内 容	実 績 (日時・場所・回数・人数等)												
<p>①ふるさとひょうご創生塾 (創生塾)</p>	<p>魅力あるリーダーシップを持った、ふるさとづくりの「新しい地域リーダー」を育成するため、地域活動のノウハウと実践力を身に付ける「ふるさとひょうご創生塾」を運営しました。</p> <p>令和2年度実践活動(第24期生)</p> <p>①防災を意識したプログラム導入のための支援ツールの作成・提供</p> <p>明石市江井ヶ島地区で毎年実施されている防災フェスティバルの場を活用して、地域のつながりを醸成し、体験を通して防災意識や防災行動が身につくプログラムを企画し、提供しました。</p> <p>②みっしょん ヤキイモ2020</p> <p>子どもから高齢者まで気軽に参加でき、準備から片付けまで主体的に関わるヤキイモと屋外ゲームを共通体験し、世代を超えた交流により、地域活動が元気な子どもたちを作る場になるきっかけづくりを行いました。</p> <p>③縁JOY NAGATA 異文化理解の集い</p> <p>在住外国人が増え、言葉や習慣等の壁に生き辛さを感じる人が多いという現状を踏まえ、地域の人々が在住外国人と出会い交流し、共生する意識を醸成するきっかけの場を提供しました。</p> <p>④ふるさと河合寺子屋体験</p> <p>未来を担う子どもたちが地域に関心を持ち、愛着を持って積極的に地域のかかわっていく住民になるよう、法話を聞いたり、地域に関するクイズを親子で回答する寺子屋体験を企画しました。</p>	<p>令和2年度</p> <table border="1" data-bbox="1070 394 1474 573"> <thead> <tr> <th>期別</th> <th>在籍者数</th> <th>定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24期</td> <td>16名</td> <td>30名</td> </tr> <tr> <td>25期</td> <td>0名</td> <td>30名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16名</td> <td>60名</td> </tr> </tbody> </table> <p>[参考]令和3年度申込者数13名</p> <p>開催日：</p> <p>24期 土曜日 (毎月1～2回 計10回) 令和2年7月11日 ～3年3月13日</p> <p>場 所: 県立男女共同参画センターセミナー室等</p> <p>卒塾者: 16名(延べ620名)</p>	期別	在籍者数	定員	24期	16名	30名	25期	0名	30名	計	16名	60名
期別	在籍者数	定員												
24期	16名	30名												
25期	0名	30名												
計	16名	60名												

2 地域社会を支える高齢者の学びの支援

(1) 高齢者大学事業の充実

・幅広い教養の涵養やクラブ活動を通じた仲間づくりなど、引き続き高齢者の生きがいづくりを支

援するとともに、学習成果を地域社会で生かす取組みを強化するなど、高齢者大学事業の充実を図りました。

- ・いなみ野学園、阪神シニアカレッジ及び各地域高齢者大学は、立地する地域の特色、施設の状況、学生の学習ニーズ等を踏まえ、それぞれの個性をより生かした先進的な講座運営等を目指しました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、概ね8月末まで休校しました。ただし、6月1日から活動を再開し、徐々に活動レベルを段階的に上げました。

① いなみ野学園

ア いなみ野学園大学講座【内容変更】

高学歴化や価値観の多様化が進むポスト団塊世代のニーズに柔軟かつ機動的に応えるため、平成30年1月の「いなみ野学園カリキュラム検討懇話会からの提言」を踏まえ、見直しを行った学習課程等を、令和元年度入学生から実施したところであり、学年進行により、令和2年度においては、新2年生に実施していくなど、時代に対応したシニアの学びの場を提供しました。

学 科	園芸	健康づくり	文化	陶芸	計	定員
1年	61名	67名	85名	16名	229名	340名
2年	38名	76名	66名	16名	196名	340名
3年	43名	75名	74名	27名	219名	340名
4年	59名	81名	64名	29名	233名	340名
計	201名	299名	289名	88名	877名	1,360名

【参考】令和3年度入学予定者

1年	59名	52名	103名	30名	244名	340名
----	-----	-----	------	-----	------	------

イ いなみ野学園大学院講座【内容変更】

高齢者大学講座等で学んできた知識や技能を掘り下げ、個人や地域の力を再発見することにより、地域での活動をはじめ、地域づくりに役立つさまざまな活動の手法を学びます。

学科	地域づくり研究科				計	定員
1年	70名				70名	50名
コース	歴史・文化	健康・福祉	環境・地域	景観園芸	*2年よりコース分け	
2年	45名	9名	9名	3名	66名	50名
計	—				136名	100名

【参考】令和3年度入学予定者

1年	54名				54名	50名
----	-----	--	--	--	-----	-----

ウ 研究生制度

高齢者大学の卒業生を活用した生涯学習指導者の養成を図るため、いなみ野学園大学院講座修了者を対象に、生涯学習指導者としての研究及び実践活動を行う研究生制度を運営しました。

R2 新規認定者数：15名 現認定者数：62名

兵庫大学エクステンションカレッジや公民館等での講座において講話等活躍

エ 聴講生制度【中止】

いなみ野学園高齢者大学の講座の一部を公開し、地域づくりについて学ぶきっかけづくりや実践活動の充実につなげました。

さらに「人生100年時代」に対して退職後の生き方を考える世代（退職準備世代）に学びの場を提供し、就業・介護等の事情から高齢者大学への入学が困難な層にも学習の機会を提供しました。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。

・受講料（1講座あたり） 学生・卒業生 1,300円、一般 1,500円

オ 地域活動支援センター

卒業生等へのボランティア情報提供やボランティア団体の創設・運営等を支援する「地域活動支援センター」を運営し、県高齢者大学卒業生等が行う地域づくり活動を促進しました。

また、地域づくり活動グループの活動発表の場やシニアの地域づくり活動の現状を考える機会として、フォーラムなどの行事を開催しました。

R2 登録活動グループ数：46団体 活動実績：90件

カ 学園運営等サポーター

高齢者大学の講座運営等を支援する高齢者大学等運営サポーターを募集、登録し、高齢者大学卒業生等の学習成果を活かしていくとともに、高齢者大学等の活性化を図りました。

[学園運営サポーター]

種 別	内 容	活動実績
(講座等)運営サポーター (6名)	大学院や大学の講座における円滑な講座運営のための講座補助業務 〔採用対象〕 研究生	延べ 182日
陶芸学科運営サポーター (1名)	学科テキストの作成や配布資料の作成、または園外学習や出前教室等地域活動の企画・運営 〔採用対象〕 卒業生	—
地域活動支援センター運営サポーター (3名)	学生等による地域活動を企画し、その実践を支援 〔採用対象〕 研究生	延べ 10日
ラジオ番組事業サポーター (29名)	ラジオ関西と共同で制作するシニア向けの情報提供番組「いなみ野シニアの元気ニュース！」の制作に参加協力し、取材活動や放送業務を補助 〔採用対象〕 大学講座学生等	番組数 年間52回
学園広報サポーター (8名)	CATV番組や広報ビデオ、名刺の制作 〔採用対象〕 研究生	延べ 100日
公開講座運営サポーター (12名)	公開講座・しごと活躍講座の運営等 〔採用対象〕 研究生	延べ 24名 6日
みどりのサポーター	「いなみ野ガーデニングの日」に学園敷地内の植栽管理活動の実施	26名 1日

(37名)	[採用対象] いなみ野学園卒業生	
高齢者園芸センターサポーター (6名)	作物の生産販売を行うサポーターを設置し、卒業生の学びを生かす実践農場として活用	6名 1日

キ しごと活躍講座【拡充】

平日の午後やいなみ野学園の休園日などの学舎を活用し、生活支援分野等において、有償ボランティアとして活躍するために必要な基礎知識を習得するための講座を開設しました。

令和2年度においては、令和元年度受講生に対する振り返りやブラッシュアップを図る「フォローアップ研修会」の開催や、いなみ野学園に加えて県内3カ所でも実施し、開催場所の拡大も図りました。

【実績】

- ・動画制作編集養成講座フォローアップ研修会（いなみ野 1回）

開催日時：令和2年10月15日、22日、29日 3日間 15：00～18：00

開催場所：いなみ野学園中教室 参加者数：12名

- ・日本語講師ボランティアフォローアップ研修会（いなみ野 1回）

開催日時：令和2年10月23日、30日 2日間 15：00～18：00

開催場所：いなみ野学園中教室 参加者数：22名

- ・保育補助支援講習会（いなみ野 1回）

開催日時：令和2年11月22日13：00～16：00

23日10：00～16：00 2日間

開催場所：いなみ野学園 地域活動支援センター 参加者数：6名

- ・剪定スタッフ講習（①淡路、②但馬、③いなみ野、④西播磨 各1回）

①開催日時：令和2年10月15・22・29日10：00～16：00（15日は13：00から）

開催場所：淡路文化会館 参加者数：延べ18名

②開催日時：令和2年10月26日～28日 10：00～16：00（26日は13：00から）

開催場所：但馬文教府 参加者数：13名

③開催日時：令和2年11月22・23日 2日間 10：00～16：00

開催場所：いなみ野学園 参加者数：17名

④開催日時：令和2年12月8～10日 13：00～16：00

開催場所：西播磨文化会館 参加者数：6名

- ・くらし支援講習（西播磨 1回）

開催日時：令和2年12月8・10日 13：00～16：00、9日10：00～16：00

開催場所：西播磨文化会館 参加者数：7名

ク いなみ野学園運営の見直し検討【新規】

いなみ野学園は、高齢者大学の先進モデルとして、高齢者の生涯学習、地域貢献活動の推進の役割を担ってきました。そして、創立50周年を機に学習内容等を見直し、令和元年度入学生から専門講座の充実を図るとともに、在籍年限や年齢制限の緩和、学園の広報活動の強化を図りましたが、依然、高齢者大学を取り巻く環境は厳しく、入学者が定員を充足できていない状況が続いています。

そこで、学園ニーズに即した学園運営の見直しを行うため、「いなみ野学園運営懇話会」を設けるほか、魅力ある学科運営による学園生増加対策や事務事業の見直しによる支出削減対策の検討を行い、学園経営の健全化に取り組みました。

② 阪神シニアカレッジ

令和元年度から、4か所に分散していた学習室を統合し、新学舎(宝塚市)での講座を開始しました。これを契機に、学科の枠を超えた学生交流や、多様な意見・考え方に触れる機会の増を図るとともに、学生の地域活動の拡充を支援しました。

ア 阪神シニアカレッジ大学講座【内容変更】

高齢者が生涯学習を通して教養をより高めるとともに、「生涯現役」として創造的に生きるための多彩なプログラムを提供しました。

学年	園芸	健康	国際理解	計	定員
1年	63名	60名	60名	183名	150名
2年	50名	55名	59名	164名	150名
3年	28名	56名	53名	137名	150名
4年	31名	39名	47名	117名	150名
計	172名	210名	219名	601名	600名

【参考】令和3年度入学者

1年	40名	57名	57名	154名	150名
----	-----	-----	-----	------	------

イ 阪神ひと・まち創造講座【内容変更】

地域社会等での人間関係・コミュニケーションを改めて学び、あわせて阪神地域の歴史・文化・産業・自然などの魅力や課題を再認識することで、地域への愛着をもったコミュニティ活動等への意欲の醸成とコミュニティの活性化を目指しました。

[阪神ひと・まち創造講座(2年制)]

学年	1年	2年	計
在籍者数	29名	27名	56名

【参考】令和3年度入学者 1年 29名(各学年定員30名)

ウ 聴講生制度

長期休講明けの9月以降、高齢者大学の講座の一部を公開し、カレッジライフの楽しさを体験していただき、募集要項を送付するなど学生の確保につなげました。

聴講生制度の対象者	60歳未満の学習意欲のある方 60歳以上 県高齢者大学の学生、就労卒業生、介護等やむを得ない理由で入学困難な方
聴講対象講座	県高齢者大学の学生以外の者：共通講座及び各専門学科講座 県高齢者大学の学生：他の専門学科講座 ただし、教室の収容能力を超える場合やグループ学習等聴講になじまない講

	座（講座日程表の講座ごとに聴講の可否を表示）は対象外	
聴講料（資料代等の実費）	阪神シニアカレッジの学生・卒業生	1 講座あたり 1, 300 円
	阪神シニアカレッジの学生・卒業生以外の者	1 講座あたり 1, 500 円
聴講生数	延べ 290 名 収入額 426, 000 円	

また、新型コロナウイルスに起因する長期休講に伴い卒業年度の終了までに、所定の授業時間を受講できなかった令和2年度卒業生を対象に、令和3年度を限りに「特別聴講生」として翌年度の講座等を受講する制度を創設しました。

令和2年度卒業生 126 名 うち特別聴講を希望したもの 41 名

エ 地域活動支援センター

卒業生等へのボランティア情報提供やボランティア団体の創設・運営等を支援する「地域活動支援センター」を運営し、県高齢者大学卒業生等が行う地域づくり活動を促進しました。

- ・ 主な機能
 - グループ登録やマッチング等の地域での実践活動のきっかけづくり
 - 地域活動の企画・運営に関する相談、研修会、講演会の開催、広報紙の発行など活動成果の情報発信、登録グループの行う地域活動に対する経費支援

オ 学舎統合による魅力の向上

学舎統合による学生間の相互交流や活動の活性化を受け、高齢者による豊かな地域創生の拠点としての魅力を広く発信し、「新生」阪神シニアカレッジをアピールしました。

③ 嬉野台生涯教育センター

ア うれしの学園生涯大学（4年制大学講座）

生涯学習の一環として、高齢者に総合的・体系的な学習機会を提供し、生きがいある充実した生活基盤を確立することを目指すとともに、地域活動の実践者を養成することにより、高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進に寄与することを目的として運営しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、9月～3月に講座を実施しました。4年制大学と大学院講座を連携させたカリキュラムに組みなおすとともに、感染症予防に留意した講座運営を行いました。（大学院講座 同様）

〔うれしの学園生涯大学（4年制）〕

	1年	2年	3年	4年	計
在籍者数	42名	30名	44名	49名	165名

【参考】令和3年度入学者 1年 18名

（各学年定員 60名）

イ うれしの学園生涯大学大学院講座

高齢者大学講座での学習を基礎として生かし、地域の課題を専門的・実践的に学び知識や技能のステップアップを図るとともに、スキルアップ自主企画講座の柔軟な設定やそれに伴う4年制大学講座の受講など自由と自主性を尊重したカリキュラムにさらに取り組み、主体的に地域社会に関わる意欲を持った地域づくり活動の担い手づくりに努めました。

[うれしの学園生涯大学大学院(2年制)]

	1年	2年	計
在籍者数	22名	23名	45名

【参考】令和3年度入学者 1年 13名(各学年定員30名)

④ 但馬文教府

ア みてやま学園(4年制大学講座)【内容変更】

豊かで生きがいのある生活を送るために、自己の健康づくりや地域づくり活動の実践力を培うなどの生涯学習の機会を提供するとともに、ここでの学びを通して長寿社会を担う地域活動の実践者を養成し、生きがいづくりや社会参加の推進に寄与するよう努めました。

[みてやま学園(4年制)]

	1年	2年	3年	4年	計
在籍者数	28名	33名	43名	40名	144名

【参考】令和3年度入学者 1年 35名 (各学年定員60名)

イ みてやま学園大学院(地域活動実践講座)【内容変更】

4年制大学講座での学習をもとに、実践的な社会参加活動について学習することにより、地域づくり活動などに主体的に取り組む意欲をさらに醸成するとともに、実践力を習得することで、地域づくり活動等の実践者を養成に努めました。

[みてやま学園(2年制)]

	1年	2年	計
在籍者数	36名	22名	58名

【参考】令和3年度入学者 1年 21名(各学年定員30名)

⑤ 西播磨文化会館

ア ゆうゆう学園(4年制大学講座)【内容変更】

生涯学習の一環として、高齢者が豊かな生きがいのある生活を送るために必要な教養と、地域づくり活動に役立つ専門知識や技能を身につけられるよう、総合的・体系的な学習の場を提供し、高齢者の生きがいづくりや地域の活性化に寄与するよう努めました。

[ゆうゆう学園(4年制)]

	1年	2年	3年	4年	計
在籍者数	34名	49名	59名	38名	180名

【参考】令和3年度入学者 1年 46名 (各学年定員60名)

イ ゆうゆう学園大学院(地域活動実践講座)【内容変更】

4年制講座等での学習をもとに、実践的な社会参加活動について学習することにより、地域における課題に対して、より主体的、実践的、専門的に取り組むことができる人材を育成し、地域発展に寄与できる実践者としての資質を養うよう努めました。

[ゆうゆう学園大学院(2年制)]

	1年	2年	計
在籍者数	17名	21名	38名

【参考】令和3年度入学者 1年 26名(各学年定員30名)

⑥ 淡路文化会館

ア いざなぎ学園(4年制大学講座)【内容変更】

高齢者に学習年限4年で総合的、体系的な学習の機会を提供し、高齢者が生きがいある充実した生活基盤を確立し、地域の実践者としての素養を身につけることを支援しました。

[いざなぎ学園(4年制)]

	1年	2年	3年	4年	計
在籍者数	15名	24名	12名	3名	54名

【参考】令和3年度入学者 1年 48名 (各学年定員60名)

イ いざなぎ学園大学院(地域活動実践講座)【内容変更】

高齢者大学講座を修了した者に、学習年限2年で社会参加活動に係る総合的、体系的かつ実践的な学習機会を提供し、高齢者が地域づくり活動の実践者となることを支援しました。

[いざなぎ学園大学院(2年制)]

	1年	2年	計
在籍者数	3名	4名	7名

【参考】令和3年度入学者 1年 4名 (各学年定員30名)

(2) 高齢者放送大学事業の充実

ア 高齢者放送大学(ひょうごラジオカレッジ)

著名な講師陣により発信する質の高いラジオ講座を運営し、幅広く県民に生涯学習の機会を提供するとともに、中央・地方スクーリング等を通じた学友との交流の場の提供など、ラジオカレッジの魅力積極的に発信しました。

また、「仕事をしながら学べる」「自宅に居ながら学べる」特長を発信し、多世代が興味・関心を持つ分野を積極的に学習内容に取り入れました。

新たな受講生については、コロナ禍により県下各地での説明会等が開催できない中、学生への協力を依頼し、口コミなどによる勧誘で昨年と同程度の受講生を確保しました。

区分	本科生	聴講生	生涯聴講生	合計
在籍者数	124名	14名	1,539名	1,677名
定員	500名	定員なし		—

【参考】令和3年度

在籍者数	127名	11名	1,466名	1,604名
------	------	-----	--------	--------

イ ラジオカレッジサポーター

テキスト等の編集や発送に関すること、行事開催に関することなど、ラジオカレッジ運営を支援する「ラジオカレッジサポーター」を募集・登録し、各種事業にスタッフとして参加していただきました。

- ・対象者 ラジオカレッジ学生
- ・登録者数 19名
- ・活動日数 年間15回 延べ30日

(3) 高齢者の交流・健康づくり活動の広域的展開・場の提供

ツウゲットボール等のシニアニューススポーツの普及、全国健康福祉祭(ねんりんピック)への選手派遣を行い、高齢者の交流・健康づくり活動を広域的に展開しました。

① シニアニュースポーツ【中止】

グラウンド・ゴルフをはじめとするシニアニュースポーツの普及促進を図り、当協会が開発したツウゲットボールの全県大会を開催することとしておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止しました。

② 全国健康福祉祭（ねんりんピック）【延期】

全国の高齢者がスポーツ等を通じて交流を深める全国健康福祉祭（ねんりんピック）に兵庫県選手団を派遣することとしておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、ぎふ大会は翌年に延期になりました。

○ねんりんピック岐阜 2020（開催延期）

・会 期 令和2年10月31日（土）～11月3日（火）・選手団 170名程度

※以下の会期で延期

○ねんりんピック岐阜 2021

・会 期 令和3年10月30日（土）～11月2日（火）

③ 兵庫県高齢者学習研究協議会【休止】

（協会本部、いなみ野、放送大、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路）

学ぶ高齢者のつどいの開催や県内の高齢者大学・高齢者教室による連携事業や研修事業等を実施してきました兵庫県高齢者学習研究協議会（事務局：生きがい創造協会）について、その所要経費を負担することが、当協会において困難となったことから、各ブロックにおいて今後も実施することを決定した事業を除いて、当分の間、活動を休止することとしました。

(4) ウィズコロナ、ポストコロナに対応した学びの場の提供【新規】

① 生涯学習オンライン講座（動画配信）事業の実施【新規】（協会本部等）

新型コロナウイルス感染拡大防止のために行われた自粛要請等により、開催できない高齢者向け講座等について、インターネットを通じての動画配信と資料提供を行うことにより、外出自粛期間及び外出に不安を抱える期間でも自宅に居ながら学べる機会を提供し、学習意欲の維持や生きがいづくりの向上を図りました。

・令和2年6月から実施

・協会ホームページに動画・資料を掲載し、インターネット経由で視聴。

計11講座（いなみ野・阪神・西播磨・嬉野台）

視聴回数 計5,647回

② 生涯学習講座における新たな学習環境実証事業の実施【新規】（協会本部）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、高齢者大学等の生涯学習講座においても、受講者が安心・安全に学習できる新たな学習環境の整備を行うとともに、効果的な学習内容、効率的な講座運営に向けた課題やニーズ等を明らかにし、今後の講座展開につなげていきました。

・動画配信、分散開講等新たな学習環境の整備

・講座の効果やニーズ、課題を把握するためのアンケートの実施

実施期日：令和3年2月

対 象：いなみ野学園大学講座受講生

回 答 数：509名

3 未来を担う青少年の育成

(1) 生きる力を育む体験教育の実施

① 嬉野台生涯教育センター

長年にわたり野外活動等による体験教育に取り組んできた嬉野台生涯教育センターを体験学習・野外活動を先導する拠点として位置付け、野外活動学習をはじめとする青少年等に対する体験学習の充実を図り、青少年等の生きる力を育てていきました。

事業名	内 容	実 績 (日時・場所・回数・人数等)
ア ひょうご冒険教育（HAP） （嬉野台）	<p>県下で唯一の施設の体験による冒険活動を通じて、こころ豊かでたくましい人間を育成することを目指し、信頼や協調性を高める「チームづくり」の機会を提供しました。</p> <p>また、参加者の年齢や体験グループの成熟度、活動内容（体験時間等）等に応じた適切なアレンジにより HAP 体験の機会を提供しました。</p> <p>さらに、教育関係者や HAP に携わる指導者等のセミナー及び講習会の拡大を図り、指導者等の資質向上を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動回数：7 回程度 （9 月～3 月の各 1～3 日間） ・対 象 者：社会教育、野外教育、学校教育、生涯学習、社員教育等の関係者 	<p>開催日：令和 2 年 9 月 ～令和 3 年 3 月</p> <p>場所：嬉野台生涯教育センター</p> <p>参加者数：延べ 2,953 名</p>
イ 野外活動指導者養成講座 （嬉野台） 【中止】	<p>野外活動の基本的な知識・技能を習得するとともに、指導者として必要な資質を身につける機会を提供し、野外活動指導者としての人材を育成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動回数：年 2 回 ・対 象 者：野外活動に関心のある者 	<p>新型コロナウイルス感染拡大により中止</p>
ウ 全県野外活動フォーラム （嬉野台）	<p>県内の野外活動関係者が一堂に会し、これからの野外活動指導者に必要な資質や在り方についての研修を行うとともにネットワークの構築を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動回数：年 1 回（12 月に 1 日間） 	<p>開催日：令和 2 年 12 月 12 日</p> <p>場所：嬉野台生涯教育センター</p> <p>参加者数：17 名</p>
エ うれしの台ユースセミナー （嬉野台）	<p>野外等における豊かな体験活動を通じて、子どもたちに感動や達成感、充実感を味あわせるとともに、集団の中での自律心、規範意識を育成することを通じて「たくましいひょうごっ子」を育成する機会を提供しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者：小学生・中学生・高校生 ・コース：13 コース 	<p><サマースクール></p> <p>期間：令和 2 年 7 月 26～30 日</p> <p>参加者数：4 コース 【中止】</p> <p>期間：令和 2 年 8 月 3～8 日</p> <p>参加者数：3 コース 【中止】</p> <p>期間：令和 2 年 8 月 20～23 日</p> <p>参加者数：2 コース 【中止】</p> <p><オータムスクール></p> <p>期間：令和 2 年 10 月 24 日</p>

	※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オータムスクールのみ実施	参加者数：1コース 64名 〈ウインタースクール〉 期間：令和2年12月25～27日 参加者数：3コース【中止】
オ ひょうご・ロシアハバロフスク青少年交流事業 (嬉野台) 【中止】	本県の青少年が、ロシアハバロフスク地方を訪れ(隔年で相互訪問)、交流活動やホームビジット等を通して、国際理解教育や環境学習を推進します。	新型コロナウイルス感染拡大により中止
カ 学校の学習活動(自然学校) (嬉野台)	各学校の児童生徒にとって充実した学習活動となるよう、安全面・衛生面等に配慮したプログラムづくりや集団での学びのサポートをしました。	・自然学校 受入れ校数 32校 受入れ人数 1,957名 ・ひょうご冒険教育(HAP) 小学校 26校 1,769名 中学校 8校 598名 高等学校 2校 119名 大学 0校 0名

② 但馬文教府

事業名	内 容	実績(日時・場所・回数・人数等)
ア 小・中学生作文・詩集「但馬の子ども」の発行 (但馬)	小・中学生から作文、詩を募集し、優秀作品を「但馬の子ども」に掲載しました。 ・対象者：但馬地域の小・中学生	応募期間：令和2年9月1日 ～10月19日 出品数：163点(小学校121点、 中学校42点) 〈「但馬の子ども」の発行〉 令和3年2月発行 発行部数：400部
イ 科学する但馬の子ども作品展、研究集録の発行 (但馬)	豊かな但馬の自然環境の中で生活している児童生徒の科学する心の育成を支援するとともに、自然の事物・現象について理解を深め、科学的思考力を養い、自らの力で探求する喜びを体験し、発表することにより子どもの生きる力を育むことを趣旨として作品展を開催し、優秀作品を掲載した研究集録を発行しました。 ・対象者：但馬地域の小・中学生	〈作品展〉 開催日：令和2年9月11～22日 場所：但馬文教府 来場者数：141名 〈研究集録の発行〉 令和3年3月発行 発行部数：370部
ウ 科学チャレンジ&みてやま親子交流フェスタ in 但馬文教府 (但馬)	理科教育に関して文教府が培ってきた先導的取組みやネットワークを活かし、幅広い団体、教育機関等との連携により、未来の但馬の担い手や世界レベルで活躍する子どもたちを育成しました。 なお、規模を縮小して多世代ふれあい交	開催日：令和2年9月27日 場 所：但馬文教府 内 容：ボトルボルズ(松竹芸能) サイエンスショー、JAXA コスミックカレッジ、関西モバイルプラネ

【内容変更】	流事業と同時開催しました。	タリウム、大学・地元高校による実験展示・体験、貝がら工作教室、Nゲージ運転 ほか
エ 多世代ふれあい交流事業（但馬） 【内容変更】	<p>幼児や子育てする親等を対象に、県関係機関、生活創造グループ、教育機関等の参画により遊び体験や育児指導等の親子イベントを通じて文教府の周知及び利用促進を図りました。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染拡大のため開催時期を延長し、規模を縮小して科学チャレンジと同時開催しました。</p>	参加者数:600名
オ 文教府ジュニア陸上教室（但馬） 【延期】	<p>体育関係者とのネットワークを活かし、子ども達を対象に全国トップレベルのアスリートから特別指導を受けることにより、スポーツへの興味を深め、地域のスポーツのさらなる振興を図りました。</p>	<p>開催日：令和2年11月7日 場 所：豊岡総合スポーツセンター陸上競技場 内 容：トップレベルのアスリートからの特別指導 講 師：伊東 浩司（元100m日本記録保持者） 参加者数：200名</p>
カ 創作活動体験教室（但馬） 【中止】	<p>3つの創作コースを設けて、但馬地域の芸術家により子どもたちに分かりやすくポイントを伝えながら美術作品の創作ができる体験教室を開催し、子どもたちの芸術活動を推進します。</p>	新型コロナウイルス感染拡大により中止

③ 西播磨文化会館

事業名	内 容	実績（日時・場所・回数・人数等）
ア 大人も子どもも楽しめる「文化体験教室」（西播磨） 【新規】 【日程変更】	<p>地域のグループ・団体等と連携して、子どもも大人も様々な文化活動を体験しながら、表現力や想像力を養うワークショップを実施しました。</p>	<p>開催日：令和3年3月7日 場 所：西播磨文化会館 参加者：98名</p>
イ プレーパークへの支援（西播磨） 【日程変更】	<p>「子どもの遊び場を考える会赤とんぼ」の活動場所として敷地内を活用。プレーパーク赤とんぼの開催を支援するなど、様々なイベントを通して若い世代との交流を図りました。</p>	<p>開催日：6～3月 場 所：西播磨文化会館 参加者：延べ3,736名</p>

④ 淡路文化会館

事業名	内 容	実績（日時・場所・回数・人数等）
ア 国生みの島元 気っ子フェス ティバル （淡路） 【中止】	淡路地域で活動する個人や団体が、子どもの健全育成を目的とした様々なプログラムを出展し、こころ豊かで健やかな子どもの育成とともに、豊かなコミュニティ社会の実現を図ります。	新型コロナウイルス感染拡大により中止
イ 夏休みサイエ ンス体験広場 （淡路） 【内容変更】	淡路島内の中学生・高校生による、小学生等を対象とした夏休みの自由研究や工作のヒントになる楽しい科学の実験やものづくり体験を通じて、子どもたちの科学に対する興味や関心を高めました。 多数の出展者・観覧者が一堂に会して行うイベント形式ではなく、実験の様子や原理を解説する映像をオンライン配信する形式に変更して実施しました。	開催日：令和3年3月29日配信

(2) ふるさと意識の醸成

地域の特色を生かした事業を展開し、青少年のふるさと意識の醸成を図りました。

① ふるさと北播磨発見！事業（嬉野台）

北播磨の歴史や文化を再認識し、地域の魅力を発見するため、フィールドワークや歴史講座を開催しました。

ア ふるさと北播磨発見！フィールドワーク

【第1回】開催日：令和2年10月17日（土）

場 所：加西市、小野市

参加者数：27名

【第2回】開催日：令和2年11月14日（土）

場 所：多可町、西脇市

参加者数：31名

イ ふるさと北播磨発見！歴史講座

開催日：令和2年12月12日（土）

場 所：嬉野台生涯教育センター講堂

参加者数：126名

ウ 記録集の作成

700部（令和3年3月発行）

② 小・中学生作文・詩集「但馬の子ども」の発行（但馬）【再掲】

③ 大人も子どもも楽しめる「文化体験教室」（西播磨）【再掲】

④ 国生みの島元気っ子フェスティバル（淡路）【再掲】【中止】

4 生涯学習に関わる多様な主体との連携・交流

生涯学習や地域づくり活動に対する多彩な県民ニーズに応えるため、多様な生涯学習関係機関、活動団体等とのネットワーク化や連携を進めました。

(1) 大学等学校教育機関との連携

① 兵庫大学、兵庫教育大学等との連携（協会本部、いなみ野）

兵庫大学・兵庫大学短期大学部、兵庫教育大学等との連携により、生涯学習講座の開設、学校施設の相互利用等を実施しました。

・兵庫大学・兵庫大学短期大学部との連携

主な内容	<ul style="list-style-type: none">・兵庫大学エクステンションカレッジにおいて、いなみ野学園研究生による講義を実施（いなみ野）・講師派遣等本学園講座への協力、学園行事への後援等（いなみ野）・兵庫大学の生涯学習プログラム（科目等履修生、エクステンションカレッジ）説明資料の配布（いなみ野）・双方のポスター、パンフレット等の掲示（いなみ野）
------	---

・兵庫教育大学との連携

開催日	令和3年3月2日
対象者	いなみ野学園2年生及び一般
参加者数	184名
開催場所	いなみ野学園 大講堂
内容	<ul style="list-style-type: none">・講演 演題：日本の中の南アジア 講師：兵庫教育大学大学院 教授 南埜 猛

開催日	令和2年11月10日
対象者	うれしの学園生及び一般
参加者数	197名
開催場所	嬉野台生涯教育センター 講堂
内容	<ul style="list-style-type: none">・講演 演題：測って気づく“からだのフシギ” 講師：兵庫教育大学大学院 准教授 小田 俊明

② 甲子園大学等との連携（阪神）【内容変更】

健康学科のグループ学習の一環として、甲子園大学と連携した講座を組み込んだ“老若交流、講座については、新型コロナウイルス感染拡大により中止しましたが、関西労災看護専門学校生との“異年齢交流を実施しました。

・関西労災看護専門学校との交流

<ul style="list-style-type: none">・講座の実施 カレッジ学生（健康学科）が、同専門学校生と一緒に「ウエルネスウォーキング武庫川を歩く」に参加、「泌尿器科医療」「地域スポーツ」「足裏の健康」「人間関係の心理学」「ボランティア学」「運動と健康づくり」をテーマとした講義を受講 講師・実施日：関西国際大学現代社会学部観光学部教授 西村 典芳 令和2年11月24日 神戸大学大学院医学部泌尿器科医師 中野 雄造 令和3年1月19日
--

兵庫県立大学看護学部心理系教授	金 外淑	令和3年1月19日
神戸大学名誉教授	山口 泰雄	令和3年1月26日
社団法人エゴスキュージャパン協会	根津 千秋	令和3年2月2日
園田学園女子大学教授	藤澤 政美	令和3年2月2日

③ 兵庫教育大学との連携による生涯学習指導者育成研修（嬉野台）【中止】

青少年の体験活動や野外活動に関する基本的な理論と実技を修得する教育実習（フレンドシップ実習：兵庫教育大学における科目）を実施します。

（教育実習生を「うれしの台ユースセミナー」におけるリーダーとします。）

・対象者 兵庫教育大学教育実習生（2年生）

※新型コロナウイルス感染拡大防止により中止しました。

④ 地域の学校教育機関との連携（嬉野台）【中止】

うれしの学園生涯大学の講座の一環として兵庫教育大学、県立社高等学校、市立米田小学校、米田こども園等と連携した世代間交流事業を実施し、多世代交流の促進を図ります。

※新型コロナウイルス感染拡大防止により中止しました。

⑤ 豊岡短期大学との連携（但馬）【中止】

豊岡短期大学との連携協定に基づき、講座開設の実施を通して一層の強化を図ります。

具体的には、介護制度の概要や子育て等をテーマに、同大学において学生との合同授業やグループ討議などを実施します。

※新型コロナウイルス感染拡大により中止しました。

⑥ 県立龍野北高等学校との連携（西播磨）【内容変更】

平成23年からの県立龍野北高等学校との連携協定に基づき、互いの持つ資源の有効活用を通じて、高校生と高齢者大学生との意見交換会や高校生による森づくりなど様々な連携事業を実施しました。

主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生とゆうゆう学園生との意見交換会の開催 実施日：令和2年10月30日、11月27日 ・ゆうゆう学園講座に高校生が参加 テーマ：「高齢者のネット社会」 「人生の完成期、貴方はどこで過ごしたいですか」 ・高校生（環境建設工学科）に校外学習の機会を提供するため、西播磨文化会館山林<small>さんか</small>地にレンガ敷きによる憩いのスペース「三夏」を施工
------	--

⑦ 地域の学校教育機関との連携（淡路）【中止】

いざなぎ学園の講座の一環として、関西看護医療大学、関西総合リハビリテーション専門学校、淡路市立多賀小学校等と連携した世代間交流事業を実施し、多世代交流の促進を図ります。

⑧ 公益財団法人兵庫県青少年本部山の学校との連携（いなみ野）

山の学校生徒による施設内の倒伐木のほか、交流事業に取り組みました。

(2) 公民館等市町関係機関との連携（協会本部）

公民館が主催する生涯学習講座等の講師の紹介、生涯学習推進アドバイザーやいなみ野学園研究生の派遣などにより、市町の生涯学習事業を支援しました。

- ・生涯学習推進アドバイザーの派遣 16件（再掲）
- ・市町公民館等担当者向けにいなみ野学園研究生紹介資料の配布

(3) 博物館等社会教育機関との連携

兵庫陶芸美術館及び県立考古博物館との連携により、高齢者大学への講師派遣、各施設の実施事業への積極的な参加等を実施しました。

(4) 自治会等各種地域団体との連携

地域学校協働本部が実施する地域学校協働活動（見守り等学校支援活動、放課後子ども教室等）への高齢者大学学生、卒業生等の参加を促進しました。

① プレーパークへの支援（西播磨）【再掲】

(5) 高齢者大学等関係組織との連携

① 同窓研修会との連携（いなみ野）

同窓研修会を高齢者大学卒業生の生涯学習機関と位置づけ、講師としての研究生等の紹介を通じて研修活動の充実に協力しました。

② ラジオカレッジ友の会（放送大）

高齢者放送大学の「ラジカレ応援団」ともいえる友の会の活性化を図るため、友の会の組織率向上や広報誌発行の継続、運営などに関する課題を代表者会議の中で検討しました。

また、地方スクーリングの機会を通じて、各友の会の会員から現状や課題などの情報収集を行うとともに会員拡大に向けての支援協力を依頼しました。

③ 阪神シニアカレッジ同窓会との連携（阪神）

新学舎移転に伴い同窓会室を新たに設け、その自主的な活動を支援するほか、同窓会への加入促進・カレッジ学生募集に関する相互協力など、相互に連携しながら事業を推進しました。

なお、令和2年度は、同窓会設立20周年に当たることから、その周年事業についても連携を図りましたが、新型コロナウイルス感染拡大により令和3年度に延期しました。

④ うれしの友の会との連携（嬉野台）

センターに集うすべての人々をつなぐ「うれしの友の会」と連携して、年間100回を超える様々な楽しい体験や交流をしながら、参加者相互の心の交流を図り、こころ豊かな場を創造していきました。

⑤ みてやま学園学生自治会・同窓会との連携（但馬）

みてやま学園学生自治会及び同窓会との連携により地域実践活動講座を実施し、花の定植や清掃活動など文教府周辺道路等の環境美化活動に取り組みました。

⑥ 但馬高齢者生きがい創造学院との連携（但馬）

但馬高齢者生きがい創造学院との連携を進め、互いの行事等で交流を深めるなど高齢者の生活創造活動を支援しました。

⑦ ゆうゆう学園学生自治会・同窓会との連携（西播磨）【内容変更】

学生自治会・同窓会が連携し、研修会やクラブ活動への参加など様々な交流をしながら、地域におけるボランティア活動等の地域づくり活動の促進へつなげました。

また、ゆうゆう学園クラブや同好会が、西播磨県民局主催の「西播磨フロンティア祭」で開催される「出る杭大会」には、新型コロナウイルス感染拡大の影響で出場しませんでした。日頃の地域づくり活動を発表することで更なる地域づくり活動の活発化を図りました。

※「出る杭大会」への出場【中止】

⑧ いざなぎ学園学生自治会との連携（淡路）

いざなぎ学園学生自治会の運営に協力し、学園学生相互の親睦を深めることに寄与するとともに、自治会が行う施設内、施設周辺等の清掃その他の環境美化活動を支援することで、いざなぎ学園の学習環境の向上を図りました。

※自治会による美化活動等の実施は無し。

⑨ 塾友会等OB会との連携（創生塾）

塾友会等OB会との連携により、卒塾生の地域づくり活動の促進を図りました。

(6) 広域ネットワーク組織との連携

兵庫県公民館連合会等の県域ネットワーク組織との連携を強化するとともに全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会等の全国ネットワーク組織や関西圏・首都圏シニア大学校等の県域を越えたネットワーク組織との連携を強化しました。

① 兵庫県公民館連合会との連携

兵庫県公民館連合会との連携において、社会教育関係職員等研修や生涯学習関係調査研究の共同実施を引き続き行い、兵庫県公民館連合会との連携を強化しました。

② 全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会との連携（協会本部）

高齢者の生きがいづくり・健康づくりを推進し、地域の支え手となる高齢者を育む活動に取り組む全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会が主催する会議に参加し、推進機構相互の情報交換や事業推進の協議を行いました。

○総会（年2回）

すべて書面審議により実施された。

○幹事会（年3回）

すべてリモート会議により開催された。

開催日：令和2年10月5日（月）、11月11日（水）及び令和3年2月9日（火）

○実務担当者会議（年2回）

すべてリモート会議により開催された。

開催日：令和2年8月20日（木）、令和3年1月19日（火）

○近畿ブロック会議（年1回）

開催中止

③ 関西圏・首都圏シニア大学校交流事業（協会本部、いなみ野）【中止】

関西圏・首都圏の高齢者大学の運営者・学生・卒業生等呼びかけ、互いに知識を深め、交流の輪を広げることを目的として実施している当該事業を兵庫県で計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止しました。

④ 県内文化施設との連携（あいカード）（全施設）

県内の美術館、博物館等の文化施設における県高齢者大学等学生を対象とする割引利用制度（あいカードの提示による割引）により、学生の学習ニーズに対応するとともに、文化施設の利用促進を図りました。

(7) NPO、社会福祉協議会等地域活動団体との連携

ボランティア活動の場の提供、実践体験講座の支援等に取り組むボランティアセンターを運営する市町社会福祉協議会、NPOを育成する中間支援団体等との連携を進めていきました。

(8) 各施設の魅力を生かした地域住民との交流

① 施設の魅力を活かした地域住民との交流（いなみ野）

- ・学園の魅力ある資源を活かした陶芸および園芸の地域開放型講座【中止】
- ・「親子陶芸教室」の継続実施【中止】

② 北播磨地域ふれあい事業（嬉野台）

- ・当センターにある野外活動施設（HAP施設を含む）での野外活動体験を通して、北播磨地域内外の人達の交流を深めるとともに、地域活性化を図るため、地域へ出向き、「仲間づくり」講座（出前講座）を実施しました。

(ア) うれしの地域ふれあいDAY（対象：地域住民等）

令和2年5月4日【中止】、10月4日 62名 計62名

(イ) うれしの地域ふれあいDAYキャンプ（対象：地域住民等）

令和2年6月28日【中止】、10月24日 63名、11月28日【中止】 計63名

(ウ) うれしのふれあいアカデミー（対象：地域住民・教育関係者等）

- ・HAPアカデミー

令和2年7月31日【中止】、10月3日 22名 計22名

- ・仲間づくり講座（出前講座）

令和2年10月7日 8名、10月21日 8名、令和3年2月13日 22名 計38名

- ・うれしの塾

令和2年7月4日【中止】、12月5日 8名 計8名

5 地域団体等の参画と協働による地域文化活動の支援

文化会館等で展開してきた地域文化活動の振興、地域文化活動団体への支援を更に強化するなど、地域団体等の参画と協働による地域づくりを推進し、青少年の感性（想像力、表現力等）を育むとともに、住民のふるさと意識の醸成や居場所・交流の場づくりなどを進め、みんなで支え合う地域づくりにつなげました。

(1) 地域文化事業の実施（嬉野台、但馬、西播磨、淡路）

従来から取り組んできた各地域の伝統芸能、音楽、文芸、美術、スポーツ等地域文化の振興を図る発表会、コンサート、公募展、イベント開催等について、引き続き地域の関係団体、住民の参画と協働により事業を継続しました。

[地域文化活動の振興]

事業名	事業概要	実績	
① 嬉野台生涯教育センター	ア うれしの春のフェスティバル 【中止】	施設開放を行い、芸術、文化、スポーツ、地域活動団体の交流などを通じて、家族間、世代間、地域間の交流の促進を図るとともに、利用者の拡大を図る。 対象者：県民	【中止】 予定日：令和2年5月4日(月)
	イ うれしのまるとギャラリー	年間を通じて絵画、写真、書、木彫、陶芸、染色等を展示することで作品発表と鑑賞の場を提供しました。 対象者：県民	・常設展示[歴史コーナー] 「センターの変遷」 ・特設展示 計124点 ※Ⅰ期60点、Ⅱ期64点
	ウ 東はりま大茶会 【中止】	茶道文化の交流事業を実施し、伝統文化の保存・継承を図るとともに、地域文化の振興と普及拡大を図る。 対象者：団体を構成する会員及び県民	【中止】 予定日：令和2年10月4日(日)
	エ 東はりま芸能祭 【中止】	芸術活動を進める団体に発表の場と交流の機会を提供し、団体の育成を図るとともに、広く県民に鑑賞の場を設けることで伝統芸能の啓発普及を図る。 対象者：団体を構成する会員及び県民	【中止】 予定日：令和2年10月18日(日)
	オ 東はりまコーラス大会 【中止】	合唱団体による発表と交流の場を提供し、音楽団体の育成を図るとともに、個性ある文化活動の向上を図る。 対象者：団体を構成する会員及び県民	【中止】 予定日：令和2年10月25日(日)
	カ 東播磨選抜美術展 【中止】	公募による美術展を開催し、優れた作品にふれる機会を設けるとともに、創作意欲を喚起することにより東・北播磨地域における美術の振興を図る。 対象者：団体を構成する会員及び県民	【中止】 予定日：令和3年2月26日(金)～28日(日)
	キ 東播磨の地域文化を考える会	東播磨・北播磨地域各市町文化協会・団体の会員等が一堂に会し、地域における文化振興の現状や課題、地域の特色を生かした事業の推進方策等について情報交換や協議を行いました。 対象者：団体を構成する会員及び県民	実施日：令和3年3月6日(土) 参加者数：126人
	ク 東はりまみんなよう大会 【中止】	みんなように取り組む団体の発表と交流を通して、伝統芸能の継承を図ることにより地域文化の活性化を図る。 対象者：団体を構成する会員及び県民	【中止】 予定日：令和3年3月28日(日)

	ケ 文芸誌「東はりま文化子午線」第44号の発行	東播磨・北播磨地域の県民を対象に公募した短歌・俳句・川柳・詩・随筆等の作品を中心とした文芸誌の発行を通して、文化活動の裾野の拡大と地域文化の活性化を図る。 対象者：団体を構成する会員及び県民	発行日：令和3年3月31日（水） 発行部数：2,500部
② 但馬文教府	7 文教府夏期大学 【中止】	県民の教養を高め、こころ豊かに暮らすため、斯界の第一人者を招き講演会を開催し、但馬地域の文化、教育の振興を図る。 対象者：県民	【中止】 予定日：令和2年8月22日（土） 予定場所：豊岡市民会館文化ホール 予定者数：約1,000人
	イ 但馬美術展 【中止】	日本画・油彩画・水彩画・版画・ミクストメディアの5部門からなる公募展を実施、鑑賞の場を提供することにより美術の発展を図る。 対象者：但馬在住、又は但馬で活動している高校生以上	【中止】 予定期間：令和2年7月31日（金）～8月7日（金）
	ウ ふるさとの心をうたう但馬合唱祭 【中止】	但馬各地の合唱団体が一堂に会し、日頃の練習成果の発表と交流により、ふるさと但馬の文化振興を図る。 対象者：但馬内合唱グループ	【中止】 予定日：令和2年11月23日（月・祝） 予定者数：約1,000人・約40団体
	エ 但馬歴史講演会	但馬史へ理解を深め郷土愛を育むため、但馬の歴史や遺跡等についての講演会を実施しました。 対象者：県民	開催日：令和2年11月28日（土） 場所：但馬文教府 参加者数：108人
	オ 但馬文学のつどい「たじま作品集」の発行	短歌、俳句、冠句、川柳の合同作品展と研さん交流の会を開催するとともに、但馬在住者及び但馬のグループに所属する人を対象に短歌・俳句・冠句・川柳、詩を募集し、短詩型文学『たじま作品集』として発行しました。 対象者：一般・・・だれでも 児童生徒・・・但馬地域の小・中・高・特別支援学校	〈但馬文学のつどい〉 開催日：令和2年11月14日（土） 応募数：一般248点、 児童生徒1,738点 参加者数：180人 〈『たじま作品集』の発行〉 募集期間：令和2年10月26日～12月25日 令和3年3月発行 発行部数：500部
	カ 但馬ふるさと芸術文化祭 【内容変更】	但馬で芸術・芸能活動に取り組む個人や団体、学校などが日頃の成果を発表し、ふるさと但馬の芸術・文化のさらなる振興を目指しました。なお、展示会のみとし芸能活動発表会は中止しました。 対象者：県民	実施日：令和2年10月1日（木）～4日（日） 実施場所：但馬文教府 参加者数：657人

③ 西播磨文化会館	ア 播州段文音頭大会 【内容変更】	地域に唄い継がれてきた播州段文音頭の保存会を支援するため、交流の機会を提供することで、活動の活性化とともに、地域文化の振興を図りました。 大会の様子を紹介するサイトを設置し、配信しました。 対象者：西播磨文化協会連絡協議会加盟の播州段文音頭保存会等、県民	実施日：令和2年8月29日（土） 実施場所：西播磨文化会館 参加者数：約50人
	イ 播州段文音頭教室 【新規】 【内容変更】	播州段文音頭の担い手を養成するため、各市町文化協会や保存会と連携し、音頭及び太鼓を学ぶ機会を設けました。 対象者：県民	実施日 隔週月曜 【変更】→隔週月曜日 （6月から12月） 参加人数 各回40人程度 【変更】→各回15人程度
	ウ ふるさとの心をうたう西播磨音楽祭 【内容変更】	中播磨・西播磨各地で活動している合唱団等の音楽活動団体に発表と交流の場を提供し、それら団体の育成を図るとともに、中播磨・西播磨の特色ある芸術文化活動の向上を図りました。 新型コロナウイルス対策のため、会場での合唱祭は中止とし、合唱サークルの活動を紹介するサイトを設置し、配信しました。 対象者：県民、中播磨・西播磨地域の合唱グループ	紹介団体 8団体
	エ 西播磨ふるさと写真展	作品を通し、明日の西播磨を考える機会を提供するとともに、作品の鑑賞を通して、互いの技量の向上や交流の輪の拡大を目指し、地域文化の活性化を図りました。 テーマ：中・西播磨の自然と文化 対象者：県民 〈巡回展〉 上記の写真展を中播磨・西播磨管内各市町で巡回展示する巡回展を開催し、広くふるさと意識の醸成を図りました。	〈写真展〉 期間：令和2年9月5日～11日 実施場所：西播磨文化会館 入場者数：334名 〈巡回展〉 期間：令和2年10月1日～28日 場所：光都プラザ「オプトピア」 入場者数：714名 期間：令和2年11月4日～10日 場所：福崎町文化センター小ホール 入場者数：40名 期間：令和2年11月11日～29日 場所：ギャラリー&喫茶やまだ 入場者数：80名 期間：令和2年12月15日～ 令和3年1月11日 場所：神河町中央公民館 1・2F ロビー 入場者数：224名

③ 西播磨文化会館			<p>期間：令和3年1月14日～21日 場所：相生市文化会館ホワイエ 入場者数：500名</p> <p>期間：令和3年1月26日～ 2月2日 場所：赤穂市民会館1Fロビー 入場者数：560名</p> <p>期間：令和3年2月3日～12日 場所：姫路市立香寺公民館 入場者数：452名</p> <p>期間：令和3年2月17日～26日 場所：上郡町生涯学習支援センター 入場者数：250名</p>
	オ 西播磨短歌祭	<p>中播磨・西播磨地域の短歌愛好者の作品を公募し、入選者を表彰するとともに、講師を囲んで作品の鑑賞を行う中で、互いの交流と創作意欲の高揚を図りました。</p> <p>対象者：中・西播磨地域在住または在勤(学)の方 中・西播磨地域の歌会に所属する方</p>	<p>開催日：令和2年10月24日 場 所：西播磨文化会館 応募数：575首(516名)</p>
	カ 西播磨俳句祭	<p>中播磨・西播磨地域の俳句の愛好者の作品を公募し、入選者を表彰するとともに、講師を囲んで作品の鑑賞を行う中で、互いの交流と創作意欲の高揚を図りました。</p> <p>対象者：中・西播磨地域在住または在勤(学)の方 中・西播磨地域の句会に所属する方</p>	<p>開催日：令和2年10月24日 場 所：西播磨文化会館 応募数：1,560句(935名)</p>
④ 淡路文化会館	<p>7 淡路人形浄瑠璃後継者交流発表会 【内容変更】</p>	<p>淡路人形浄瑠璃に影響を受けた全国の人形浄瑠璃後継者団体等と連携し、後継者の交流と発表の機会をつくるとともに、各団体のネットワーク化と全国への情報発信を推進しました。</p> <p>※交流会 島内後継者団体(5団体)によるリモート会議システムを用いた交流会実施</p> <p>※発表会 島内後継者団体(5団体)の活動状況を収録した映像を相互鑑賞することにより、各団体のネットワーク化を図りました。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大のため、以下の計画は中止 (交流会) 開催日：令和2年7月24日 場 所：洲本市文化体育館 →リモートによる交流会に変更 令和2年10月24日 令和3年3月28日</p> <p>(発表会) 開催日：令和2年7月25日 場 所：洲本市文化体育館 →VTR撮影会に変更 場所 淡路人形座</p>

	出演者：島内外後継者団体（中学校、高等学校）、特別出演団体 対象者：県民	日時 令和2年7月23日、8月11日、9月2日、10月25日、11月25日、南あわじ市ケーブルテレビで放映、DVD配布
イ 淡路島ココだけの文化祭 【新規】 【内容変更】	「コロナに負けず文化の明かりを灯しつづけ、新しいライフスタイルを彩るハートフルなプログラムを届ける。」をコンセプトとして、淡路地域で保存・継承されている伝統芸能や民俗芸能、淡路島をテーマとした創作芸能や様々な音楽等に取り組む団体のパフォーマンス映像を配信することで、地域文化の振興を図りました。 出演者：島内文化活動団体 対象者：一般	実施日：令和3年2月1日 ～令和3年8月31日 場 所：淡路文化会館HP
ウ 淡路日本画セミナー 【内容変更】	日本画の創作技術の習得と鑑賞眼を養うとともに、芸術に親しむ心を培う機会を提供しました。 初級、中級の2コースに分けて開催 年間10回 定員：初級30名、中級20名 対象者：県民	※9月開講、年間7回に変更して実施 実施回数：7回 参加者：初級 延べ178名 中級 延べ117名
エ 淡路洋画セミナー 【内容変更】	洋画の創作技術の習得と鑑賞眼を養うとともに、芸術に親しむ心を培う機会を提供しました。 年間10回 定員：50名 対象者：県民	※9月開講、年間6回に変更して実施 実施回数：6回 参加者：延べ130名
オ スプリングコンサート 【中止】	淡路島内の音楽関係団体や愛好家に発表と交流の機会を提供し、淡路地域の声楽芸術文化活動の向上及び裾野の拡大に努める。 対象者：県民	新型コロナウイルス感染拡大のため、以下の計画は中止 実施予定日：令和3年3月7日 会場：淡路市立サンシャインホール
カ 第39回全淡短歌祭	短歌作品を募集し、優秀作品を表彰することで、淡路地域の短歌愛好家の交流と創作意欲の高揚を図りました。 対象者：県民	開催日：令和2年7月18日 場 所：洲本市立洲本図書館
キ 第44回淡路島俳句大会	俳句作品を募集し、優秀作品を表彰することで、淡路地域の俳句愛好家の交流と創作意欲の高揚を図りました。 対象者：県民	開催日：令和2年11月8日 場 所：洲本市立淡路文化史料館
ク 第42回淡路文学作品展	作者自ら書写した短歌・俳句・雑俳を展示することで、淡路における短詩型文学の振興を図りました。 対象者：県民	開催日：令和2年11月25日 ～12月5日 場 所：洲本市立淡路文化史料館

(2) 文化会館等の特性を生かした利用促進

文化会館等は、地域の特色ある文化活動の拠点として市域を越えた地域文化団体の事務局を担うなど、伝統文化の伝承活動、住民のふるさと意識の醸成、広域交流のたまり場としての役割などを担いました。

今後も広域地域文化拠点として、日常的、継続的な賑わいを創出するため、地域の文化団体、地域団体、生活創造活動グループ、高齢者大学学生・卒業生で構成する団体、NPO等の参画と協働による活性化事業を実施し、利用促進を図りました。

①地域文化活動の支援

支援団体等	支援内容	実績
① 嬉野台生涯教育センター	<p>7 東播磨文化団体連合会への支援</p> <p>東播磨・北播磨地域内の各種文化団体の連携と研修を深め、地域の芸術文化の高揚を図ることを目的として設立された東播磨文化団体連合会が実施する各種事業や活動等を支援</p> <p>〈支援内容〉 地域文化団体との連携調整をはじめ、「東播磨の地域文化を考える会」の開催や文芸誌「東はりま文化子午線」の発行など</p>	<p>〈役員会・理事会・定期総会〉 予定日：令和2年5月29日【中止】 場所：嬉野台生涯教育センター</p> <p>〈各事業〉 開催時期：令和2年10月～令和3年3月</p> <p>〈みんよう大会〉 場所：三木市【中止】 〈大茶会〉 場所：小野市【中止】 〈コーラス大会〉 場所：播磨町【中止】 〈美術展〉 場所：稲美町【中止】 〈芸能祭〉 場所：加東市【中止】 〈地域文化を考える会〉 場所：嬉野台生涯教育センター 参加者数：126名</p> <p>〈「東はりま文化子午線」の刊行〉 令和3年3月発行 発行部数：2,500部</p>
② 但馬文教府	<p>7 但馬文化協会への支援</p> <p>但馬地域住民の文化に対する関心を高め、郷土文化の振興を目的として設立された但馬文化協会が実施する各種事業や活動等を支援</p> <p>〈支援内容〉 地域文化団体との連絡調整をはじめ、但馬文化協会機関紙「KOHNOTORI」発行、ふるさと芸術文化振興事業等</p>	<p>〈但馬美術展〉【中止】 予定日：令和2年7月31日 ～8月9日</p> <p>〈但馬合唱祭〉【中止】 予定日：令和2年11月23日</p> <p>〈地域文化を考えるシンポジウム〉【中止】 予定日：令和2年11月17日</p>
	<p>イ 但馬芸術文化会議への支援</p> <p>但馬地域住民の芸術・文化活動の振興を目的として設立された但馬芸術文化会議が取り組む各種事業や活動等を支援</p> <p>〈支援内容〉 地域文化団体との連絡調整をはじめ、「但馬ふるさと芸術文化祭」開催運営支援、但馬文化賞・青少年文化奨励賞の実施、機関紙「芸文たじま」の発刊など</p>	<p>〈常任理事会・総会〉 開催日：令和2年7月4日</p> <p>〈会員交流会〉【中止】</p> <p>〈講師派遣事業〉 実施回数：2回</p> <p>〈但馬文化賞・但馬青少年文化奨励賞〉 但馬文化賞 あさご芸術の森美術館友の会 但馬青少年文化奨励賞 せきのみや子ども歌舞伎クラブ</p>

	<p>ウ 但馬美術協会への支援</p>	<p>但馬地域の美術（絵画）振興を図り、郷土文化の向上に寄与することを目的として設立された但馬美術協会の事業、活動等を支援</p> <p>〈支援内容〉 地域文化団体との連絡調整をはじめ、但馬美術展の開催、但馬美術協会報の発行など</p>	<p>〈但馬美術展〉【中止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・但馬美術展の開催にむけた募集と広報活動 予定日：令和2年7月31日～8月7日 ・但馬美術展における但馬文教府長賞の授与
	<p>エ 但馬市郡婦人会連絡協議会への支援</p>	<p>但馬各市町地域婦人会相互の連絡を密にし、但馬のくらしと文化の促進を図り、婦人の資質向上と地域の発展を目指すことを目的として設立された但馬市郡婦人会連絡協議会の各種事業、活動等を支援</p> <p>〈支援内容〉 地域文化団体との連携調整をはじめ、但馬市郡婦人会交流会、但馬文教府と共催で実施する研修会など</p>	<p>〈交流会〉【中止】</p> <p>〈研修会〉 開催日：令和2年12月18日 場 所：但馬文教府 内 容：講演「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」 講師：岡本 昇 講演「昭和30年代頃の日常生活」 講師：中村 英夫</p>
<p>③ 西播磨文化会館</p>	<p>ア 西播磨文化協会連絡協議会への支援 【内容変更】</p>	<p>中播磨・西播磨地域住民の文化に対する関心を高め、郷土文化の振興を目的として設立された西播磨文化協会連絡協議会が取り組む各種事業や活動等を支援</p> <p>〈支援内容〉 地域文化団体との連絡調整をはじめ、子どもも大人も楽しめる「文化体験教室」、西播磨地域ふれあい文化交流会、新年文化交流会の開催、機関誌「西播磨文化」の発行など</p> <p>【内容変更】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新年文化交流会の開催【中止】 ・「ひょうごスタイル」関連セミナーの開催【追加】 	<p>〈西播磨地域ふれあい文化交流会・研修会〉 開催日：令和2年10月15日 場 所：揖保川町文化センター他6か所 参加者数：50名</p> <p>〈新年文化交流会〉【中止】 開催日：令和3年1月6日 場 所：西播磨文化会館</p> <p>〈「ひょうごスタイル」関連セミナー〉 開催日：令和2年11月～3年1月 全7回 場 所：西播磨文化会館他2か所 参加者数：延べ49名</p> <p>〈機関誌「西播磨文化」の発行〉 発行日：令和3年3月1日 発行部数：1,000部</p>
<p>④ 淡路文化会館</p>	<p>ア 淡路文化団体連絡協議会への支援</p>	<p>淡路地域住民の文化に対する関心を高め、郷土文化の振興を目的として設立された淡路文化団体連絡協議会が実施する各種事業や活動等を支援</p> <p>〈支援内容〉 地域文化団体との連絡調整をはじめ、ふるさと文化交流事業の開催や機関誌「あわじ」の発行等</p>	<p>〈第39回全淡短歌祭〉 開催日：令和2年7月18日 場 所：洲本市立洲本図書館 参加者数：40名</p> <p>〈第44回淡路島俳句大会〉 開催日：令和2年11月8日 場 所：洲本市立淡路文化史料館 参加者数：57名</p> <p>〈第42回淡路文学作品展〉 開催日：令和2年11月25日～12月5日 場 所：洲本市立淡路文化史料館</p>

		出品作品：102点 <ふるさと文化交流事業> 開催日：令和2年9月6日 場 所：南あわじ市中央公民館 ※悪天候のため本年度中止し、次年度開催 <文化情報誌「あわじ」第28号> 発行日：令和3年3月15日発行 発行部数：1000部<第38回全淡短歌祭
--	--	---

② 文化会館等活性化事業

令和元年度で3年間の最終年度となった各文化会館での一層のにぎわいの獲得を目的とする「各文化会館等活性化事業」の継続実施により、生涯学習・地域づくり活動の一層の活性化を図りました。

【文化会館等活性化事業】

事業名	内 容	実績（日時・場所・回数・人数等）
① 嬉野台生涯教育センター	ア ふるさと北播磨発見！事業（再掲）	(ア) ふるさと北播磨発見！フィールドワーク 【第1回】 開催日：令和2年10月17日(土) 場 所：加西市、小野市 参加者数：27名 【第2回】 開催日：令和2年11月14日(土) 場 所：多可町、西脇市 参加者数：31名 (イ) ふるさと北播磨発見！歴史講座 開催日：令和2年12月12日(土) 場 所：嬉野台生涯教育センター 参加者数：126名 (ウ) 記録集の作成 700部（令和3年3月発行）
	イ 北播磨地域ふれあい事業（再掲）	当センターにある野外活動施設（HAP施設を含む）での野外活動体験を通して、北播磨地域内外の人達の交流を深めるとともに、地域活性化を図るため、地域へ出向き、「仲間づくり」講座（出前講座）を実施しました。 開催日：令和2年10月～令和3年2月 場 所：嬉野台生涯教育センター 内 容： (ア) うれしの地域ふれあいDAY（対象：地域住民等） (イ) うれしの地域ふれあいDAYキャンプ（対象：地域住民等） (ウ) うれしのふれあいアカデミー（対象：地域住民・教育関係者等） ・HAPアカデミー ・仲間づくり講座（出前講座） ・嬉野塾

② 但馬 文教府	ア 但馬ふるさと 芸術文化祭 【内容変更】 (再掲)	但馬で芸術・芸能活動に取り組む個人や団体、学校などが日頃の成果を発表し、ふるさと但馬の芸術・文化のさらなる振興を目指しました。 なお、展示会のみとし芸能活動発表会は中止しました。 対象者：県民	実施日：令和2年10月1日(木) ～4日(日) 実施場所：但馬文教府 参加者数：657人
	イ 科学チャレンジ&みてやま親子交流フェスタ in 但馬文教府 (但馬) 【内容変更】	理科教育に関して文教府が培ってきた先導的取組みやネットワークを活かし、幅広い団体、教育機関等との連携により、未来の但馬の担い手や世界レベルで活躍する子どもたちを育成しました。 なお、規模を縮小して多世代ふれあい交流事業と同時開催しました。	開催日：令和2年9月27日(日) 場 所：但馬文教府 内 容：ボトルボルズ(松竹芸能)サイエンスショー、JAXAコスミックカレッジ、関西モバイルプラネタリウム、大学・地元高校による実験展示・体験、貝がら工作教室、Nゲージ運転 ほか 参加者数：600名
	ウ 多世代ふれあい交流事業 【内容変更】 (再掲)	幼児や子育てする親等を対象に、県関係機関、生活創造グループ、教育機関等の参画により遊び体験や育児指導等の親子イベントを通じて文教府の周知及び利用促進を図りました。 なお、新型コロナウイルス感染拡大のため開催時期を延長し、規模を縮小して科学チャレンジと同時開催しました。	
	エ 文教府ユニ7陸上教室 【延期】 (再掲)	体育関係者とのネットワークを活かし、子ども達を対象に全国トップレベルのアスリートから特別指導を受けることにより、スポーツへの興味を深め、地域のスポーツのさらなる振興を図りました。	開催日：令和2年11月7日(土) 場 所：豊岡総合スポーツセンター陸上競技場 内 容：トップレベルのアスリートからの特別指導 講 師：伊東 浩司 (元100m日本記録保持者) 参加者数：200名
③ 西播磨 文化会館	ア 大人も子どもも楽しめる「文化体験教室」 【新規】 (再掲)	地域のグループ・団体等と連携して、子どもも大人も様々な文化活動を体験しながら、表現力や想像力を養うワークショップを実施しました。	開催日：令和3年3月7日(日) 場 所：西播磨文化会館 参加者：延べ98名
	イ 西播磨ふるさと文化祭 【内容変更】	新型コロナウイルス感染防止のため、子どもから高齢者まで地域で活動している団体のステージ発表を無観客で収録し、地域に伝承する祭りや民謡と一緒にホームページから配信しました。	開催日：令和3年11月29日(日) 場 所：西播磨文化会館 (WEB収録)

③ 西播磨文化会館	ウ 西播磨オカリナの輪を広げるプロジェクト 【名称変更】	音楽会を定期的に開催し、西播磨地域の音楽文化の振興を図りました。また、施設を音楽の会場・練習場として利用促進につなげました。	開催日：令和2年12月25日（金） 場 所：西播磨文化会館 内 容：オカリナの基礎を習得している愛好者を対象にオカリナ教室を開催 参加者：18名
	エ 播磨「歴史・地域学」講座	中・西播磨地域の歴史・文化・産業等を学ぶ講座を実施するとともに、地元への愛着・ふるさと意識の向上に寄与しました。また、地域の歴史・文化等関連図書を整備することにより、文化会館が歴史等に関心のある人の「たまり場」となることを期待しています。	開催日： <講演> <交流フォーラム> 令和2年10月7日 148名 ー 令和2年10月28日 168名 39名 令和2年11月18日 155名 37名 令和2年12月16日 160名 39名 場 所：西播磨文化会館 総参加者数：延べ631名
	オ オンライン生涯学習講座の配信 【追加】	ポストコロナの時代に、三密を避け自宅で学べるよう地域づくり活動や文化活動について、インターネットによる「オンライン生涯学習講座」の配信を行いました。	開催日：令和2年9月～3年3月 内 容：全8講座 WEB 配信
④ 淡路文化会館	ア 国生みの島 元気っ子フェスティバル 【中止】 (再掲)	淡路地域で活動する個人や団体が、子どもの健全育成を目的とした様々なプログラムを出展し、こころ豊かで健やかな子どもの育成とともに、豊かなコミュニティ社会の実現を図ります。	新型コロナウイルス感染拡大により中止
	イ 夏休みサイエンス体験広場 【内容変更】 (再掲)	淡路島内の中学生・高校生による、小学生等を対象とした夏休みの自由研究や工作のヒントになる楽しい科学の実験やものづくり体験を通じて、子どもたちの科学に対する興味や関心を高めました。 多数の出展者・観覧者が一堂に会して行うイベント形式ではなく、実験の様子や原理を解説する映像をオンライン配信する形式に変更して実施しました。	開催日：3月29日配信
	ウ 地域公開講座 (再掲)	地域公開講座を開催し、地域の方々に生涯学習の機会を提供することにより、生涯学習講座である「いざなぎ学園」の存在意義、必要性をアピールし、シニア世代を中心とした生きがいつくりや社会参加を推進し、地域の活性化につなげました。 【第1回地域公開講座】 内容 「千姫物語」 講師 歴史研究家 黒田 美江子	【第1回地域公開講座】 日 時：令和3年1月23日（土） 参加者：82名

④ 淡路文化会館		<p>【第2回地域公開講座】 内容 「新しい時代を健やかに生きるための笑いの力」 講師 大道芸人 田久 朋寛</p> <p>【第3回地域公開講座】 内容 「家庭園芸から自給自足まで」 講師 庭暮らし研究所代表 畑 明宏</p>	<p>【第2回地域公開講座】 日 時：令和3年2月20日（土） 参加者：63名</p> <p>【第3回地域公開講座】 日 時：令和3年3月21日（日） 参加者：84名</p>
	<p>エ 児童・生徒向け 課外学習教室【新規】 【中止】</p>	<p>小学生・中学生・高校生及びその保護者の会館利用を促進するため、児童・生徒向け課外学習教室を開催する。 (例：スポーツウェルネス吹矢、絵手紙等)</p>	
	<p>オ 文化・教養・スポーツに関する 入門講座</p>	<p>文化・教養・スポーツ等に関する講座を開設し、地域住民に文化活動に親しんでいただく機会を提供しました。</p>	<p><パッチワーク講座> 実施日：令和2年9月～3年2月 (計6回開催) 場 所：淡路文化会館 参加者数：延べ167名</p> <p><剪定講座> (再掲) 実施日：令和2年10月15日(木) 22日(木) 29日(木) (計3回開催) 場 所：淡路文化会館構内緑地 参加者数：延べ18名(申し込み7名)</p> <p>野菜を中心とした料理講座は中止した。</p>
	<p>カ 生活創造活動 グループ交流会 【中止】 (再掲)</p>	<p>「淡路生活創造情報プラザ」に登録している生活創造活動グループの発表と交流の機会を設け、その活動を広く住民に知っていただくことで、住民の生活創造活動への参加を促すとともに淡路生活創造情報プラザを利用いただく新たな生活創造活動グループを発掘する。</p>	
	<p>キ 文化情報提供事業（淡路文化会館ライブラリー） (再掲)</p>	<p>淡路文化会館が所有する図書、資料、視聴覚資料等を閲覧、貸出に供するとともに、広域ネットワーク上で公開するなどして広く一般の利用に提供しました。</p>	

6 文化・芸術活動の拠点としての機能強化

(1) 但馬文教府「ふるさと交流館」の開館【新規】

老朽化した活動体験館を建替え、新たに多目的に活用できるホールを備えたふるさと交流館を整備して但馬地域の文化・芸術活動の拠点として機能強化を図りました。

また、竣工を記念して、開館記念式典やオープニングイベントを開催しました。

7 経営の健全性・透明性の確保

今後とも、県民の主体的な学びを先導する生涯学習事業を、県民の信頼を得ながら、安定的、持続的に進めていくため、引き続き選択と集中の徹底、コスト削減に取り組むとともに、安定財源の確保を図るなど、経営の健全性・透明性の確保に努めました。

特に、令和2年度にあっては、高齢者大学の学園生負担金が減少してきており、財務運営が大変厳しい状況になってきていることから、令和2年度当初から取り組むことが可能な事務事業については、収支予算に反映しているところです。その他の事務事業についても、収支改善に有効な事務事業については、可能な限り、見直しを行いました。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、高齢者大学の入学辞退や休退学者が生じたことに加え、休講に伴い開講予定講座数を実施できないことによる受講料等の減額という状況が生じることから、学園生負担金がさらに減少しています。高齢者大学の魅力向上に取り組むとともに、新入学、復学、再入学の働きかけに努めました。加えて、県関係部局との連絡を密にし、受講料等収入の減及び講師謝金等支出の減を踏まえた影響額に対する補填（財政支援）について取り組みました。

(1) 自主財源等安定した収入の確保

① 高齢者大学入学者の確保

応募者数が減少傾向にあることから、魅力的なカリキュラムの設定など、高齢者大学の魅力向上を図り、入学者定員の確保に努めました。

特に、令和2年度は、いなみ野学園の運営について、「いなみ野学園運営懇話会」を設けて、見直しの検討を行いました。

また、入学者募集の際に効果的な口コミによる周知を図るため、学生・卒業生等へ的高齢者大学に関する定期的な情報提供を行うほか、PR効果の高いホームページ、マスメディアの活用など、効果的なPRに努め、認知度の向上を図りました。

② 適正な受益者負担の徴収

協会事業に係る経費について、適正な受益者負担を求めていきました。

③ 寄付募集の推進

いなみ野学園創立50周年を機に、令和元年度から寄付募集を開始しました。今後も寄付の推進を図ります。

また、令和元年度に採択された「ふるさとひょうご寄附金」（用途は、「いなみ野学園多世代交流応援プロジェクト事業」限定）についても、ホームページ等を通じて県外在住者などへの周知に努め、寄付受納の一層の促進を図ります。

実績：ア 兵庫県生きがい創造協会寄附

(単位:円)

使途		寄付者数	寄附額
1	地域・世代間交流事業	1	30,000
2	いなみ野学園	8	50,744
3	ひょうごラジオカレッジ	14	38,000
4	阪神シニアカレッジ	1	10,000
5	嬉野台生涯教育センター／うれしの学園生涯大学	2	110,000
6	但馬文教府／みてやま学園	1	10,000
7	西播磨文化会館／ゆうゆう学園	3	25,000
8	淡路文化会館／いざなぎ学園	1	10,000
9	ふるさとひょうご創生塾	0	0
10	協会が実施する事業	2	120,000
計		33	403,744

イ ふるさとひょうご寄附金 13名、190,294円

(充当先：いなみ野学園多世代交流応援事業)

④ オープンキャンパスの開催（いなみ野、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路）

施設の見学を通じて入学志望を高めてもらうため、オープンキャンパスを開催しました。

講義参観やクラブ見学のほか、高齢者大学での学びや活動への理解と啓発を図り、生涯学習を推進する機会としました。

いなみ野学園

開催日	令和2年11月27日、12月1日、12月9日
対象者	入学希望者
参加者数	57名
場所	地域活動支援センター 外
内容	学園概要、入学案内、クラブ活動見学会

阪神シニアカレッジ

(オープンキャンパス)【再掲】

開催日	令和2年10月7日
対象者	一般
参加者数	100名
場所	阪神シニアカレッジ大教室
内容	「ふれあいコンサート」NPO法人関西芸術文化支援の森ゆずりは若手演奏家4名

(オープンキャンパス)【再掲】

開催日	令和2年10月8日
対象者	一般
参加者数	120名
場 所	阪神シニアカレッジ大教室
内 容	講演「なるほどお天気学」 気象予報士 南 利幸 氏

嬉野台

開催日	令和2年11月10日
対象者	生涯大学学生ほか
参加者数	197名
場 所	嬉野台生涯教育センター
内 容	記念講演、スポーツ大会

但馬

開催日	令和3年1月22日、1月29日、2月12日、2月26日、3月5日
対象者	一般県民及びみてやま学園入学希望者
参加者数	36名
場 所	但馬文教府
内 容	専門講座、教養講座、クラブ活動、学習発表会

西播磨【再掲】

開催日	令和3年1月22日
対象者	一般県民、高齢者大学学生
参加者数	高齢者大学学生 150名 一般 4名 計 154名
場 所	西播磨文化会館
内 容	演題：「世界との支え合い・学び合い～被災地 KOBE から～」 講師：NPO 法人 CODE 海外災害援助市民センター事務局長 吉椿 雅道

西播磨【再掲】

開催日	令和3年2月5日
対象者	一般県民、高齢者大学学生
参加者数	高齢者大学学生 147名 一般 8名 計 155名
場 所	西播磨文化会館
内 容	演題：「西播磨から名刀を」 講師：刀工 高見 國一

淡路

開催日	12/9、1/6、1/13、1/27、2/3、2/10
対象者	入学希望者
参加者数	31名
場所	淡路文化会館
内容	学園概要、入学案内、クラブ活動見学会

⑤ 自主事業の収益の確保

経営手法の見直しや送迎バスなど利用者の利便性向上を図り、利用者の増加に努めるとともに、いなみ野学園の学生・卒業生等との連携により、農産物の栽培体制の整備を図り、販売拡大を目指しました。

ア 高齢者手づくりの店（協会本部）

高齢者が、趣味、創作活動として製作した手工芸品や民芸品、育成した野菜・花などを販売する場として、引き続き、民間事業者に委託して運営しました。

- ・出品物 野菜、花き、果物、苗、菓子、手芸品など
- ・施設の概要 木造平屋建寄棟造 117.9 m²

イ 高齢者園芸センター（協会本部）

高齢者が土と親しみ作物を育てることを通じて健康を増進するとともに、地域や世代間の心のふれあいと交流を図る場として運営しました。

(7) 指導者付貸農園（ファミリーファーム）の運営

- ・区画数 448区画(16.5 m² ; 395区画、30 m² ; 14区画、32 m² ; 39区画)
- ・利用料 16.5 m² 7,200円/年
- 30 m²及び32 m² 18,000円/年

ファミリーファーム総区画数		利用区画数
①16.5 m ² /区画	395区画	230区画
②30.0 m ² /区画	14区画	8区画
③32.0 m ² /区画	39区画	38区画

(イ) 施設の概要

- ・ファミリーファーム 11,620 m²
- ・果樹園 6,330 m²
- ・農園 4,415 m²
- ・管理棟 176 m²

ウ 高齢者陶芸の村（協会本部）【内容変更】

高齢者が作陶活動を通じて、仲間と共に生きがい創造する場として、会員の自主運営により実施しました。

※新型コロナウイルス感染拡大により、3月3日から休村し、6月15日の開村となり、年間利用料を変更（42,000円→31,500円）

(7) 会員の入村・利用料等【内容変更】

- ・会 員 60歳以上の者
- ・入村料 12,000円 ・利用料 月額3,500円（3月分前納）
- ・材料費・焼成費 粘土10kgにつき2,300円

【内容変更】材料費 内容に応じて設定

- ・作陶日：週2回（月・火と木・金の2班）
- 指導員が作陶焼成等の指導にあたりました。

(イ) 地域への開放【内容変更】

地域の人々に施設を開放し、広く陶芸の普及と世代間交流を図りました。

- ・利用料 一人1日500円 【内容変更】700円
- ・材料費・焼成費 粘土1kgにつき530円

【内容変更】材料費 内容に応じて設定

- ・指導員が作陶焼成等の指導にあたりました。
- ・作陶日：毎週水曜日

(ウ) 施設の概要

- ・敷地 2,820㎡、建物 720.78㎡
- ・作業棟3棟451.11㎡、窯棟3棟120.43㎡、乾燥棟72㎡、その他78.24㎡

(2) 施設の改修による利便性等の向上

各施設の状況、所要経費等を勘案し、利用者の利便性・快適性を確保して利用者増を図るための施設改修を計画的に進めました。

(3) 職員の適正配置等による運営

長期的視点で事業を計画的、継続的に執行することができるよう職員の適正配置等による運営を行うとともに、高齢者大学のクラス運営等のルーティン業務を運営サポーター等による自立的運営に移行するなど、高齢者が高齢者を支援する体制で運営を行いました。

(4) 協会事業の透明性確保・広報の充実

① 協会事業の見える化

ア 協会ホームページで、組織・収支状況・経営方針・事業内容・イベント情報などを定期的に発信しました。

イ ニュースレター「生きがい通信」（協会本部）

高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報などをニュースレターとしてホームページに掲載することにより、地域社会への貢献についての県民の意識啓発を図るとともに、協会事業の内容を積極的に発信しました。

- ・発信回数 年3回

② マスメディアとの連携

ラジオや新聞等のマスメディアの協力を得ながら、当協会及び協会事業の知名度向上を図りました。

ア 記者発表等マスメディアの積極的活用の推進

イ ラジオ関西との共同制作番組「いなみ野シニアの元気ニュース！」の制作

シニアによるシニアのための情報提供ラジオ番組については、学園生による企画・取材・出演という制作方法を基本としつつも、他の県高齢者大学生の参画を得た広範なシニア向け情報番組とし、生涯学習への意欲喚起に努めました。

放送回数：52回

③ いなみ野学園情報提供番組の制作・発信（いなみ野）

地域ケーブルテレビ局「BAN-BAN テレビ」の協力を得て、大学院講座学生等の自主制作により放映している番組「いなみ野学園情報」への応援を通じて、学園行事等の情報発信に努めました。

④ ホームページの運営（全施設）

可能な限りの情報公開を目指すとともに、わかりやすく、親しみやすい、身近に感じてもらえる施設像の情報発信に努めました。

(5) 経営改善の推進【追加】

経営改善を推進するため、その推進体制を設置・運営するとともに、事務事業の見直しに取り組みました。

① 推進体制の設置・運営

経営改善を推進するため、理事長を本部長とする「(公財)兵庫県生きがい創造協会経営改善推進本部」を設置(令和2年4月17日)。

また、本部に部会を置き、その下にワーキンググループ(WG)を設置。

〔本部長〕

理事長兼いなみ野学園学園長、副理事長兼事務局長、業務執行理事兼いなみ野学園副学園長、総務部長、生涯学習部長、高齢者放送大学学長、いなみ野学園副学園長

〔体制〕

事務局部会 — 総務部WG, 生涯学習部WG

いなみ野学園部会 — 教学WG, 教務・団体WG

高齢者放送大学部会

〔運営〕

年度前半(4～7月)に集中的に経営改善方策を検討

② 事務事業の見直しによる経営改善の推進

事業の廃止、業務執行体制の規模縮小、事務経費の節約等経営改善を推進。

8 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた適切な対応【追加】

新型コロナウイルス感染が続くなか、「新型コロナウイルス感染症に係る兵庫県対処方針」に基づき、県関係部局とも連絡を密にして、その感染拡大防止のための予防対策に加え、ICT環境の整備によるオンライン講座やオンライン会議システム入門セミナー等ICTを活用した事業の実施に機動的かつ適時適切に取り組んでいきます。

(1) 高齢者大学の休校及び開校後の感染防止対策

① 高齢者大学の休校

概ね8月末まで休校。

ただし、6月1日から活動を再開し、徐々に活動レベルを段階的に引き上げ。

〔高齢者大学の開講日〕

高齢者大学名	開講日	備考
いなみ野学園	9月1日	分散登園(7月)、クラブ活動再開(7/27)
阪神シニアカレッジ	9月1日	新入生オリエンテーション(8/28)
うれしの学園生涯大学	9月1日	職員がコロナ発症のため、1/19、1/26休講
みてやま学園	8月28日	
ゆうゆう学園大学院講座	9月17日	大学講座(9/18)
いざなぎ学園	9月9日	

② 高齢者大学における開校後の感染防止対策

「新型コロナウイルス感染症に係る高齢者大学運営方針」策定(6月1日)

各施設において「新型コロナウイルス感染防止対策マニュアル」策定

○環境整備

- ・サーモグラフィ、非接触型体温計、消毒液等衛生資材の配置
- ・アクリル板の設置
- ・分散教室による講座の実施及びそのための通信環境の整備

(2) 指定管理施設の休館及び開館後の感染防止対策の推進

① 指定管理施設の休館

4月8日から休館を開始し、5月22日以降順次開館。

施設名	開館日	施設利用時間短縮 21時まで→20時まで	備考
嬉野台生涯教育センター	5月25日	1月14日 ～	職員がコロナ発症のため、 1/18～1/27まで休館
但馬文教府	6月1日	2月28日	
西播磨文化会館	5月22日	(嬉野台の宿泊施設を除く)	
淡路文化会館	5月25日		

② 指定管理施設における開館後の感染防止対策

各施設において「新型コロナウイルス感染防止対策マニュアル」策定。

○環境整備

- ・サーモグラフィ、非接触型体温計、消毒液等衛生資材の配置
- ・アクリル板の設置
- ・動画配信のための通信環境の整備

(3) その他事業の新規実施、中止、延期、内容変更【再掲】

施設名等	事業名等
協会本部	<p>【新規】 オンライン会議システム入門セミナー、動画配信、分散教室開講、衛生資材の配置等新型コロナ感染防止対策(文化会館含む)</p> <p>【中止】 社会教育・生涯学習主管課長及び社会教育施設長等研修、シニアニュースポーツ、関西圏・首都圏シニア大学校交流事業</p> <p>【延期】 大学生等の公民館利用など生涯学習に関する調査研究の実施、全国健康福祉祭</p> <p>【内容変更】 高齢者陶芸の村（開講期間縮小）</p>
生涯学習情報コーナー	<p>【内容変更】 4月13日～5月29日対面による相談の中止</p>
ふるさとひょうご創生塾	<p>【内容変更】 第25期生（1年次）は開講せず、第24期生（2年次）のみ開講 4月開講を延期し、7月から開講</p>
いなみ野学園	<p>【新規】 オンライン動画の配信</p> <p>【中止】 ニュースポーツ大会、卒業研修旅行、いなみ野学園多世代交流応援プロジェクト等交流事業、聴講生制度</p> <p>【内容変更】 クラブ展示会（いなみ野祭の代替）</p>
高齢者放送大学	<p>【中止】 文芸祭、中央スクーリング（6月）、研修旅行</p> <p>【内容変更】 中央スクーリング（9月）及び地方スクーリング（規模縮小）、春のつどい（講演会に変更）</p>

<p>阪神シニアカレッジ</p>	<p>【新規】 分散教室による同時授業配信、オンライン動画の配信 衛生資材の配置等新型コロナ感染防止対策</p> <p>【中止】 甲子園大学等との連携、阪神シニアカレッジ文化祭</p>
<p>嬉野台生涯教育センター</p>	<p>【中止】 うれしの春のフェスティバル、野外活動指導者養成講座、ひょうご・ロシアハバロフスク少年少女交流事業、兵庫教育大学との連携、地域の学校教育機関との連携、東はりま大茶会、東はりま芸能祭、東はりまコーラス大会、東播磨選抜美術展、東はりまみんよう大会</p> <p>【内容変更】 うれしの台ユースセミナー(一部中止)、ひょうご冒険教育(回数減)</p>
<p>但馬文教府</p>	<p>【中止】 文教府夏期大学、創作活動体験教室、但馬美術展、ふるさとの心をうたう但馬合唱祭、豊岡短期大学との連携</p> <p>【延期】 文教府ジュニア陸上教室</p> <p>【内容変更】 科学チャレンジ & みてやま親子交流フェスタ in 但馬文教府(規模縮小)、多世代ふれあい交流事業(規模縮小)、但馬ふるさと芸術文化祭(発表会中止)</p>
<p>西播磨文化会館</p>	<p>【新規】 オンライン生涯学習講座の配信</p> <p>【中止】 西播磨生活創造活動グループ交流会</p> <p>【延期】 大人も子どもも楽しめる「文化体験教室」</p> <p>【内容変更】 プレーパークへの支援(回数減)、龍野北高校との連携(一部不実施)、学生自治会との連携(一部不実施)、ふるさとの心をうたう西播磨音楽祭(会場合唱中止)、西播磨文化協会連絡協議会への支援(規模縮小)、西播磨ふるさと文化祭(映像配信)</p>
<p>淡路文化会館</p>	<p>【中止】 生活創造活動グループ交流会、国生みの島元気っこフェスティバル、地域の学校教育機関との連携、スプリングコンサート、児童・生徒向け課外学習教室、料理講座</p> <p>【内容変更】 「生活創造しんぶん」の発行(7・8月号休止)、夏休みサイエンス体験広場(オンライン配信)、淡路人形浄瑠璃後継者交流発表会(映像鑑賞)、淡路島ココだけの文化祭(映像配信)、淡路日本画セミナー(回数減)、淡路洋画セミナー(回数減)</p>

